

看護研究 第20巻 総目次

1987 年 (第1号～第5号)

焦 点

ソーシャル・サポート (1)

解説 ソーシャル・サポート研究の動向と今後の課題.....170(2)

久 田 満

海外文献 ソーシャル・サポートに関する看護の国際的研究の動向：基本概念と方法論上の問題点について.....180(2)

Jane S. Norbeck／訳・羽山由美子

インタビュー Dr. Norbeck に聞くソーシャル・サポートの研究動向.....192(2)

聞き手・羽山由美子

海外文献 看護理論構築におけるソーシャル・サポートの概念化および測定に関する若干の論点について.....200(2)

Virginia P. Tilden／訳・羽山由美子

解説 社会福祉領域におけるソーシャル・サポート研究.....210(2)

藤 井 達也

ソーシャル・サポート (2)

解説 ソーシャル・サポート研究の概観：アメリカからの報告.....250(3)

Ada M. Lindsey／訳・黒江ゆり子

解説 精神病者のソーシャル・サポート・ネットワークに関する研究の概観.....258(3)

野嶋佐由美

解説 小児看護とソーシャル・サポート・ネットワーク.....268(3)

片 田 範子

文献検索 自殺とソーシャル・サポート・ネットワークの関係に関する文献検索.....274(3)

明 田 恭子／他

ソーシャル・サポート (3)

シンポジウムの概要.....329(4)

S. A. Murphy／訳・小泉 滋子

コストと葛藤——ソーシャル・サポートの否定的側面.....331(4)

V. P. Tilden, R. D. Galyen／

訳・小泉 滋子

ソーシャル・サポートと構成的発達モデル.....337(4)

E. S. Ellison／訳・松谷美和子

肺癌患者へのソーシャル・サポートとコーピング.....343(4)

J. M. Saunders, R. McCorkle／

訳・藤野 文代

不確かさ——ソーシャル・サポートと適応の媒介因子.....351(4)

M. H. Mishel, C. J. Braden／

訳・安酸 史子

セルフ・エフィカシーとソーシャル・サポート——自然災害に伴う精神的ストレスの媒介因子.....360(4)

S. A. Murphy／訳・神戸 恵子

コメン ト.....370(4)

J. S. Norbeck, C. Weinert, J. M. Cardea,

E. R. Lenz, S. A. Murphy／訳・神戸 恵子

セルフケア

座談会 セルフケア概念をどうとらえるか——研究的にアプローチするために.....410(5)

木下 康仁／中西 睦子／南 裕 子

解説 保健行動学からみたセルフケア.....428(5)

宗 像 恒次

解説 セルフケアを主題とした看護研究の現状.....438(5)

竹内美恵子

解説 老人看護とセルフケア……………449(5)

中島紀恵子

解説 保健婦活動におけるセルフケア……………455(5)

久常 節子

海外文献 ドロセア・オレムのセルフケア実践モデルの分析と適応……………460(5)

E. G. Whelan／訳・小野寺杜紀

海外文献 患者教育とセルフケア教育：その違いは何か？……………466(5)

L. S. Levin／訳・黒江ゆり子

特集：看護研究の質の向上をめざして——研究における理論や概念枠組の役割

看護理論と研究……………3(1)

Afaf I. Meleis

Rogers 概念モデルに基づく研究……………29(1)

P. Winstead-Fry

役割理論と看護研究……………53(1)

Afaf I. Meleis

役割移行と健康……………69(1)

Afaf I. Meleis

家族システム理論と看護研究……………91(1)

P. Winstead-Fry

家族ダイナミックスと健康……………115(1)

P. Winstead-Fry

理論的枠組の創生……………127(1)

N. S. Engel

入院による2歳児の情緒的混乱に対する親の支援の分析……………141(1)

筒井真優美

討 議……………155(1)

研 究

看護婦の燃えつき現象に対する生活および仕事ストレスとソーシャル・サポートの影響……………219(2)

山本あい子／南 裕 子／太田喜久子／

大森 里子／井部 俊子／

上泉 和子／西尾 鏡子

甘えネットワーク質問紙の作成と検定——その3……………284(3)

南 裕 子

看護婦の仕事への満足度に関する研究——米国の

ICU・CCU で働いている看護婦と一般内

科・外科病棟で働いている看護婦の比較

……………302(3)

尾崎フサ子

Research Critique

「看護婦の仕事への満足度に関する研究」についての

研究的観点からの批評……………312(3)

稲岡 文昭

Methodology

看護研究におけるグラウンデッド・セオリー・アプ

ローチ……………320(3)

稲岡 文昭／樋口 康子

海外論文

患者の性格を認知する看護婦が受ける患者の地位や

疾病の重篤度の影響……………381(4)

内 海 澪

英語論文へのアプローチ

内 海 澪

考察論 (2)……………231(2)

文献研究としての「綜説」(1)……………316(3)

文献研究としての「綜説」(2)……………401(4)

文献研究としての「綜説」(3)……………475(5)

抄 読 会

「カウンセリング——今 これから：理論・方法・

技法を語る」をめぐる……………390(4)

神保 信一／見藤 隆子／鈴木 正子

書 評

「在宅ケア——その基盤づくりと発展への方法論」

……………326(3)

金川 克子

寄 稿

看護の学会に参加して——看護研究と概念枠組

……………244(2)

川口 孝泰